

計画を1年前倒し完全ゼロエミッション達成

横浜ゴム(株)(社長：南雲忠信)は、2006年3月末までに、国内全8生産事業所で廃棄物の埋立処分量をゼロにする完全ゼロエミッションを達成した。当初2007年3月末の達成を計画していたが、昨年秋開催の環境保護推進会議で1年前倒しを決議、全社的に取り組みを急いできた。

横浜ゴムは、2001年4月から、生産事業所から排出される廃棄物(産業廃棄物、一般廃棄物、有価発生物)の埋立処分量を発生量の1%未満にするゼロエミッション活動に取り組み、2005年3月までに国内全生産事業所でゼロエミッションを達成していた。その後引き続き廃棄物の埋立処分をゼロにする完全ゼロエミッションを目指し、すでに2005年9月までに3生産事業所で完全ゼロエミッションを実現していた。

完全ゼロエミッションに向けては、処理困難物として最後まで埋立処分を行っていた硫黄、硫黄の混じった汚泥、タルク(滑石：鉱物の一種)の混じったゴム屑について、より詳細な分別やリサイクル先の開拓などを進めた。具体的には、硫黄や硫黄の混じった汚泥は単純な焼却処分ではSO_x(硫黄酸化物)を発生させ大気汚染を引き起こすため、硫黄は硫酸の原料として使用、また硫黄の混じった汚泥は無害化して路盤底材に使用するコンクリート製品等に配合するなどのリサイクル先を開拓した。タルクが混じったゴム屑については、ふるいによる分別の徹底によって、タルクはセメント会社の原料に、ゴム屑は燃料としてのリサイクルを行った。

横浜ゴムは、今後も完全ゼロエミッションを継続することはもちろん、さらに今年度から2010年度末達成を目標に“リサイクル率100%”に向けた活動を開始した。

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム(株) 広報部 担当：小林

TEL：03-5400-4531 FAX：03-3432-8430

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ

〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL：(03) 5400-4531 FAX：(03) 3432-8430

THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD. CORPORATE COMMUNICATIONS DEPT.

36-11, Shimbashi 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8685, Japan Telephone: 81-3-5400-4531 Facsimile: 81-3-3432-8430